



エンベデッドのコア  
Embedded Solution Brand

2008年3月期

# 中間決算説明会資料

2007年11月8日

株式会社 **コア**

【証券コード：2359】  
<http://www.core.co.jp>

# A G E N D A

---

2008年3月期 中間決算報告 P 2

2008年3月期 通期業績見通し P 8

今後の事業展開 P19



2008年3月期  
中間決算報告



# 08 / 3月期 中間決算概要 (連結)

(単位:百万円)

## < 主な増減要因 >

### 売上高

- (+) 受注ソフトウェアは微増 (34百万円)
- (+) 新製品投入によるシェア拡大 (617百万円)

### 売上原価

- (+) プロダクトソリューション事業の黒字化 (270百万円)
- (-) 不採算プロジェクト (POSシステム開発) に対する損失処理 ( 259百万円)
- (-) 受注計画変更に伴うコスト増等 ( 108百万円)

### 販売費及び一般管理費

- (-) 研究開発費、製品開発・販売強化に伴うコスト増 ( 110百万円)

	07/3月期 中間期	08/3月期 中間期	前年 同期比
売上高	11,964	12,615	105.4%
営業利益	432	224	52.0%
経常利益	426	214	50.4%
中間純利益	231	67	29.2%
総資産額	15,797	15,003	95.0%
純資産	6,936	6,722	96.9%
EPS (円/株)	15.72	4.74	30.2%
BPS (円/株)	472.68	471.06	99.7%



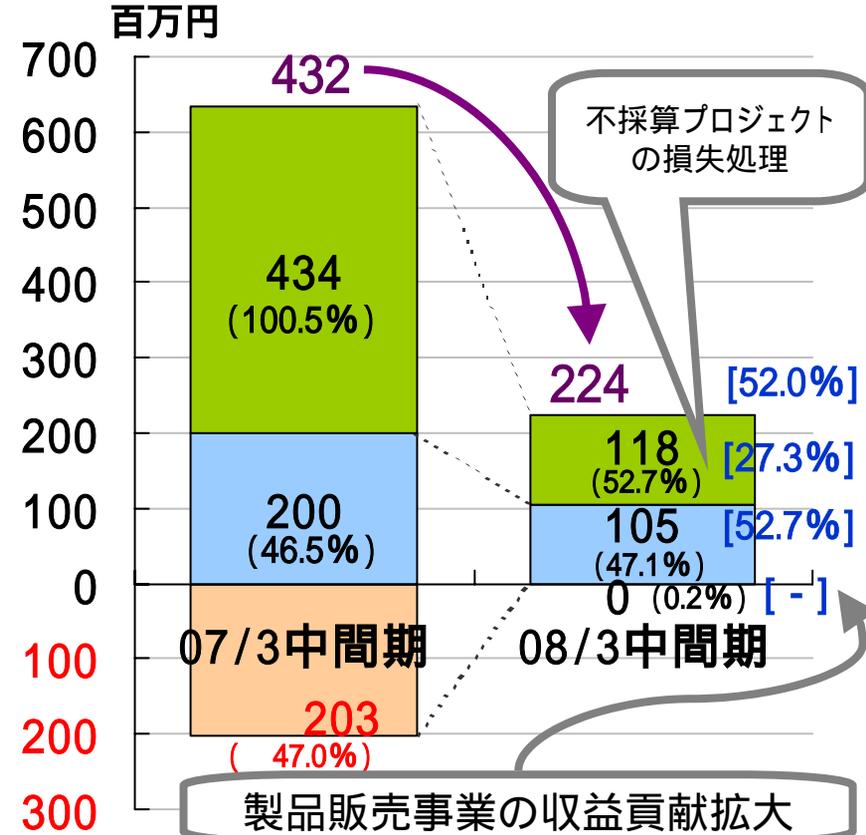
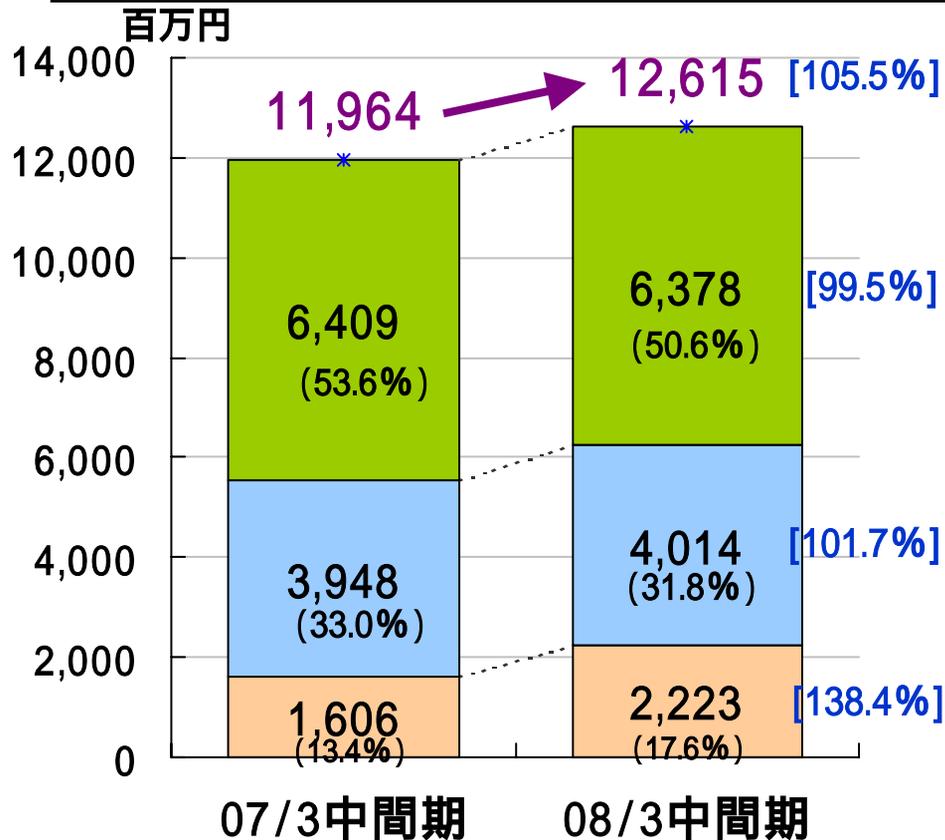
# 事業セグメント別の損益概況

## < 連結売上高 >

## < 連結営業利益 >

- ES : エンベデッドソリューション事業
- BS : ビジネスソリューション事業
- PS : プロダクトソリューション事業

➡ : 連結Total  
( )内は構成比、  
[ ]は前期比を記載





# エンベデッドソリューション事業

(単位:百万円)

## < 主な増減要因 >

事業 ポートフォリオ	07/3月期中間期		08/3月期中間期		前年 同期比
		構成比		構成比	
携帯電話 通信端末	1,946	30.4%	1,722	27.0%	88.5%
通信インフラ	534	8.3%	641	10.1%	120.3%
自動車制御 車載システム	757	11.8%	697	10.9%	92.2%
情報家電	1,151	18.0%	1,225	19.2%	106.5%
FA 装置制御	737	11.5%	619	9.7%	84.1%
その他	1,284	20.0%	1,471	23.1%	114.5%
Total	6,409	100.0%	6,378	100.0%	99.5%

外資系企業の撤退、国内  
メーカ業務の一部中止に  
より、11.5%減収

NGN、携帯電話基地局開  
発等の次世代ネットワー  
ク関連の組み込みソフトウェ  
ア開発が大幅に伸長

液晶製造・検査装置メー  
カの設備投資の抑制によ  
り減少

大型一括システム案件  
(POSシステム開発)の受  
注により増加



# ビジネスソリューション事業

(単位:百万円)

## < 主な増減要因 >

事業 ポートフォリオ	07/3月期中間期		08/3月期中間期		前年 同期比
		構成比		構成比	
金融 ソリューション	1,716	43.5%	1,901	47.4%	110.8%
製造 ソリューション	636	16.1%	534	13.3%	84.0%
流通 ソリューション	406	10.3%	440	11.0%	108.5%
公共 ソリューション	816	20.7%	755	18.8%	96.5%
Web ソリューション	372	9.4%	380	9.5%	102.3%
Total	3,948	100.0%	4,014	100.0%	101.7%

引き続き受注環境が堅調に推移し、10%増収

大型プロジェクトの一時的な開発延期などにより16%減

運送会社ほか流通業向けシステム開発受注が増加

電力会社向け大型案件などの業務が縮小



# プロダクトソリューション事業

(単位:百万円)

## < 主な増減要因 >

事業 ポートフォリオ	07/3月期中間期		08/3月期中間期		前年 同期比
		構成比		構成比	
IT資産管理 PLMソリューション	424	26.4%	487	21.9%	114.8%
開発支援 ツール	422	26.3%	537	24.2%	127.2%
電子テロップ	409	25.5%	665	29.9%	162.7%
その他	351	21.8%	533	24.0%	152.1%
Total	1,606	100.0%	2,223	100.0%	138.4%

内部統制対応、機能・ソリューションの強化で  
14.8%増

組み込みソフト開発ツール、  
半導体業界向けツール  
等が好調に推移

新機種(ハイビジョン・デ  
ジタル対応)投入で大幅  
増を達成

プリンタ・複合機向け検  
査ツール、環境測定装置  
販売が大幅に伸長



2008年3月期  
通期業績見通し



# 08/3月期 通期業績見通し (連結)

(単位:百万円)

	07/3月期実績		08/3月期計画		前期比 (%)
		構成比		構成比	
<b>売上高</b>	25,586	100.0%	26,400	100.0%	103.2%
エンベデッドソリューション事業	13,495	52.8%	13,350	50.6%	98.9%
ビジネスソリューション事業	8,217	32.1%	8,270	31.3%	100.6%
プロダクトソリューション事業	3,873	15.1%	4,780	18.1%	123.4%
<b>営業利益</b>	1,366	100.0%	1,110	100.0%	81.3%
エンベデッドソリューション事業	1,147	83.9%	570	53.2%	49.7%
ビジネスソリューション事業	469	34.3%	380	33.2%	81.0%
プロダクトソリューション事業	249	18.2%	160	13.6%	-----
<b>経常利益</b>	1,355	-----	1,080	-----	79.7%
<b>当期純利益</b>	709	-----	530	-----	74.8%
<b>1株当たり当期純利益(円)</b>	48.34	-----	37.31	-----	77.2%



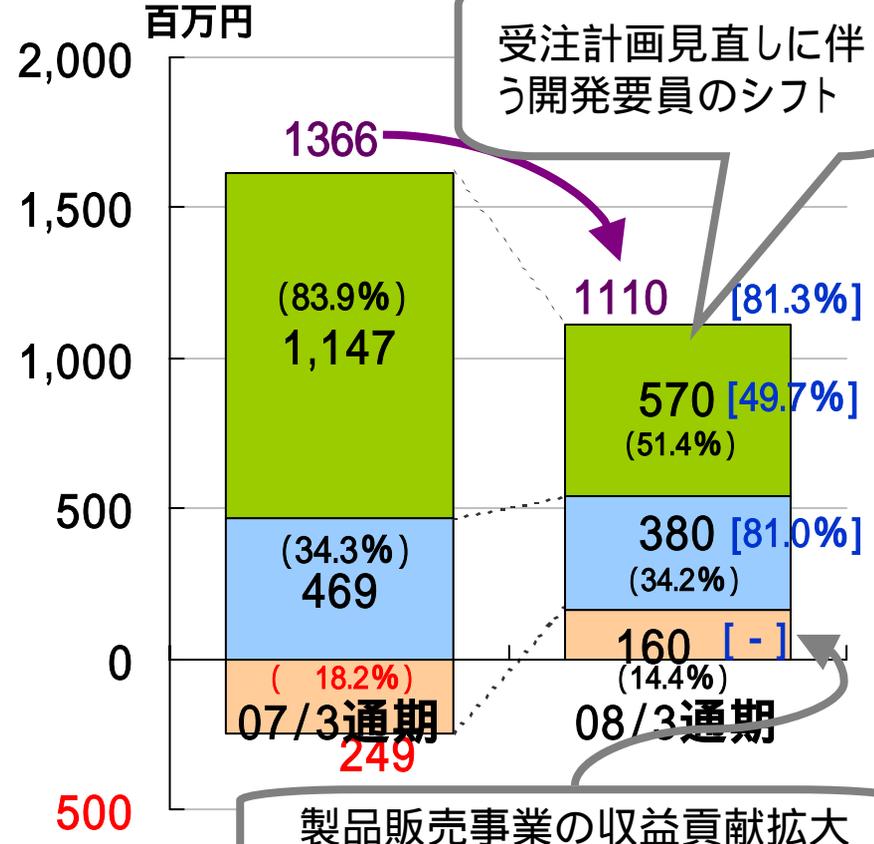
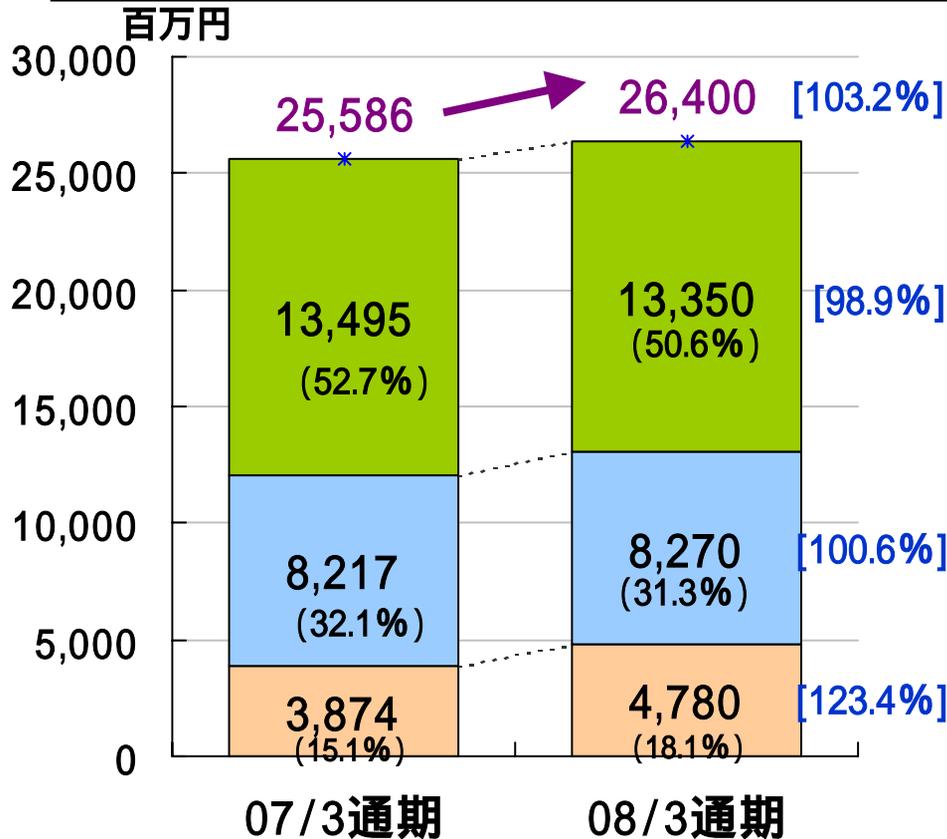
# 事業セグメント別の損益概況

## < 連結売上高 >

## < 連結営業利益 >

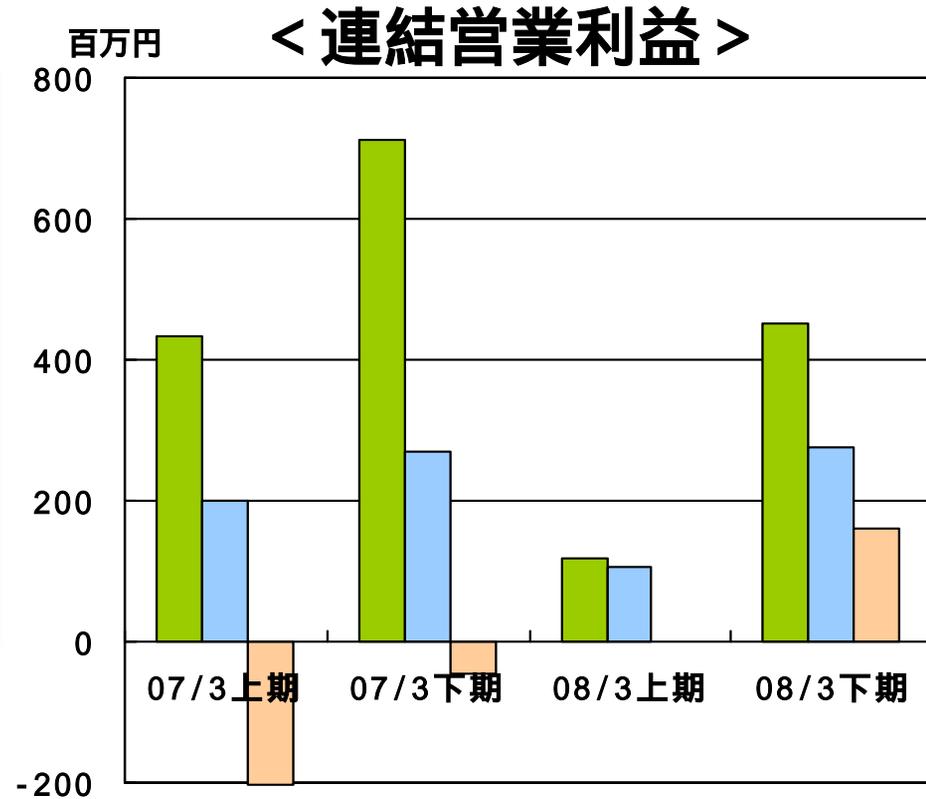
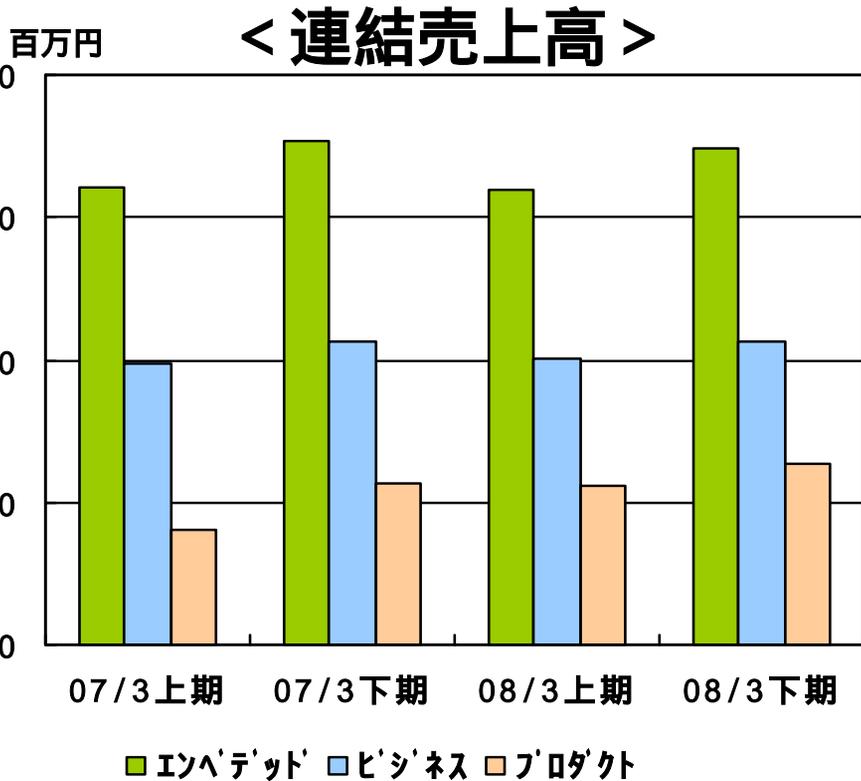
- ES : エンベデッドソリューション事業
- BS : ビジネスソリューション事業
- PS : プロダクトソリューション事業

➡ : 連結Total  
( )内は構成比、  
[ ]は前期比を記載





# 事業セグメント別の業績見通し(半期推移)



## エンベデッドソリューション事業における営業利益減少の要因

- ・ 戦略的な研究開発投資の増加
- ・ POSシステムの損失処理
- ・ 携帯電話業務縮小による技術者シフトに係るコスト増
- ・ エンベデッド業務への他社参入によるコスト競争激化
- ・ ユーザのコスト削減要求

577百万

+ 65百万

259百万

253百万

# 開発力強化戦略を推進

積極的なIT投資を進める主力ユーザからの品質(Quality)、価格(Cost)、納期(Delivery)、サポート(Service)にセキュリティ(Security)を兼ね備えたりリモート分散開発拠点を要望する声に応え、開発力を増強

➡ 仙台技術センター(07.2月)、新百合ヶ丘技術センター(07.3月)開設

コアグループ開発拠点ネットワーク(子会社・関連会社含む)

## リモート分散開発の展開

< 主な強化事項 >

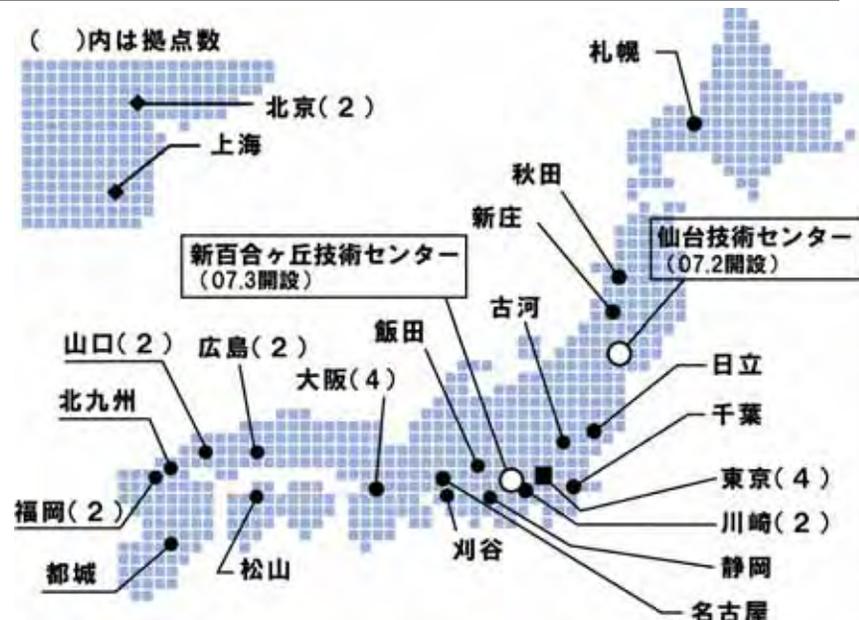
ソフトウェアエンジニアリングの  
推進(開発標準化)

ISMS規格の全国展開

開発拠点のセキュリティ強化

拠点活用による技術者採用の拡大

## 3 4 拠点体制拠点到拡大



# 大型案件への対応を推進

金融会社統合案件を中心に、大型案件、次期システム案件の対応強化、Web系への人員シフトを推進！

## 運輸業界 Web系システム

- ・車輜管理システム
  - ・顧客管理システム
  - ・ガソリン管理システム
- 50名体制で12月～(予定)

## 自動車会社 基幹系システム

- ・機種別管理システム
  - ・会計/情報系システム  
など
- 60名体制で開発開始

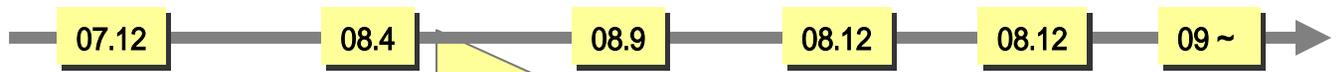
## 生保・カード会社 次期システム

- ・次期基幹システム
  - ・カード決済システム  
など
- 50、100名体制に拡大

## その他 主要案件

- ディザスタ・リカバリ  
ビジネス等の強化
- 金融統合案件・次期  
システム案件対応
- 郵政民営化ビジネス  
への参画

< 主なスケジュール(予定) >



自動車会社基幹系システム    運輸業Webシステム  
生保会社次期システム

カード会社次期システム

その他金融関連次期システム

金融統合システム (08.5月システム移行開始、08.12月移行完了、09年～バックログ対応、保守開始、30名体制)



# 製品ブランド戦略を推進

積極的な製品への開発投資・機能アップで大幅増を達成。  
アライアンス等でさらなる製品ブランド化を推進！

IT資産管理ツール

PLMツール

<ITAM製品>

ASP提供を開始

内部統制システムへの対応強化

組込み分野製品との機能連携

<PLM製品>

新バージョンリリース

通期14%増

電子テロップ  
システム

ハイビジョン・デジタル対応の新機種  
を市場投入(07.6~)

Google Earthとの機能連携を検討  
(23頁参照)

通期45%増

開発支援ツール  
関連

組込み機器用DBの提供を開始

T-Engineプラットフォーム関連の  
開発ツール、ミドルウェア販売強化、など

通期14%増



# エンベデッドソリューション事業

(単位:百万円)

## < 主な増減要因 >

携帯電話開発は縮小した  
上期業務量のまま推移

受注案件、技術  
者をシフト

次世代通信、携帯電話基  
地局等の開発案件の増  
加 (+ 22.4%)

液晶製造・検査装置関連  
の設備投資が下期後半  
から回復見込 (- 15.8%)

大型システム案件(次期  
POSシステム開発)の受  
注増(+ 11.7%)

事業 ポートフォリオ	07/3月期		08/3月期		前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
携帯電話 通信端末	4,084	30.0%	3,605	27.0%	88.3%
通信インフラ	1,097	8.0%	1,343	10.1%	122.4%
自動車制御 車載システム	1,467	11.0%	1,460	10.9%	99.5%
情報家電	2,546	19.0%	2,565	19.2%	100.7%
FA 装置制御	1,540	11.0%	1,297	9.7%	84.2%
その他	2,758	20.0%	3,080	23.1%	111.7%
Total	13,495	100.0%	13,350	100.0%	98.9%



# ビジネスソリューション事業

(単位:百万円)

## < 主な増減要因 >

事業 ポートフォリオ	07/3月期		08/3月期		前年 同期比
		構成比		構成比	
金融 ソリューション	3,643	44.3%	3,836	46.4%	105.3%
製造 ソリューション	1,173	14.3%	1,184	14.3%	100.9%
流通 ソリューション	872	10.6%	908	11.0%	104.2%
公共 ソリューション	1,649	20.1%	1,475	17.8%	89.4%
Web ソリューション	879	10.7%	867	10.5%	98.6%
Total	8,217	100.0%	8,270	100.0%	100.6%

メガバンク、生保、カード会社などの受注環境は好調維持(+5.3%)

総合商社、運送業者からの受注堅調(+4.2%)

前年度好調の電力、水道関連などの業務は収束基調(-10.6%)

運送業者向け大型Webシステムの受注で、上期から486百万円の売上増



# プロダクトソリューション事業

(単位:百万円)

事業 ポートフォリオ	07/3月期		08/3月期		前年 同期比
		構成比		構成比	
IT資産管理 PLMソリューション	964	24.9%	1,100	24.6%	114.1%
開発支援 ツール	1,091	28.2%	1,243	28.1%	113.9%
電子テロップ	897	23.2%	1,825	35.7%	145.3%
その他	921	23.7%	612	11.6%	108.9%
Total	3,873	100.0%	4,780	100.0%	123.4%

## < 主な増減要因 >

ASPによるライセンスビジネス、内部統制関連の統合ソリューション提供、PLM製品の新バージョン追加(+14.0%)

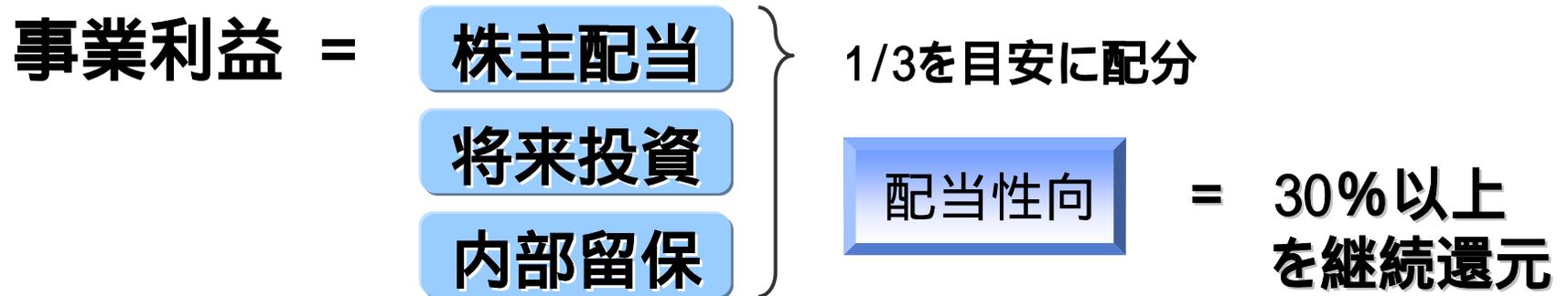
組込み機器用DB提供の開始、組込みソフト開発ツール、ミドルウェア販売強化(+14.0%)

ハイビジョン・デジタル対応電子テロップは下期も堅調に推移(+45%)

上期に引き続きプリンタ・複合機向け検査ツール、環境測定装置販売伸長

# 配当政策

基本方針：期末配当のみ実施する



## 当期の配当政策

● 1株あたり配当金 **20円**

安定配当を継続

● EPSと配当金の推移

	04/3	05/3	06/3	07/3	08/3
EPS(円/株)	95.98	122.65	58.75	48.34	37.31
配当金推移(円)	25	25	20	20	20

05年5月株式分割(1対2)を実施



今後の事業展開  
重点推進事項  
新事業トピックス

# 重点推進事項について

## 開発力強化の推進

IPビジネスの推進

アライアンスの推進

### 3つの成長戦略を推進

#### ビジネス系事業展開

大型案件対応（金融・保険・カード）  
アウトソーシングサービス拡大  
（ディザスタ・リカバリ、ホスティング、リモート監視、  
給与系ASPなど）

Web系システムへの人員シフト、  
拡大する開発業務への対応

郵政民営化ビジネスへの参画  
（郵便・郵便貯金・簡易保険・窓口ネットワーク）

#### エンベデッド系事業展開

IPビジネスの推進（GPSチップ開発推進）  
リモート分散開発推進  
プラットフォームビジネス推進

#### プロダクト系事業展開

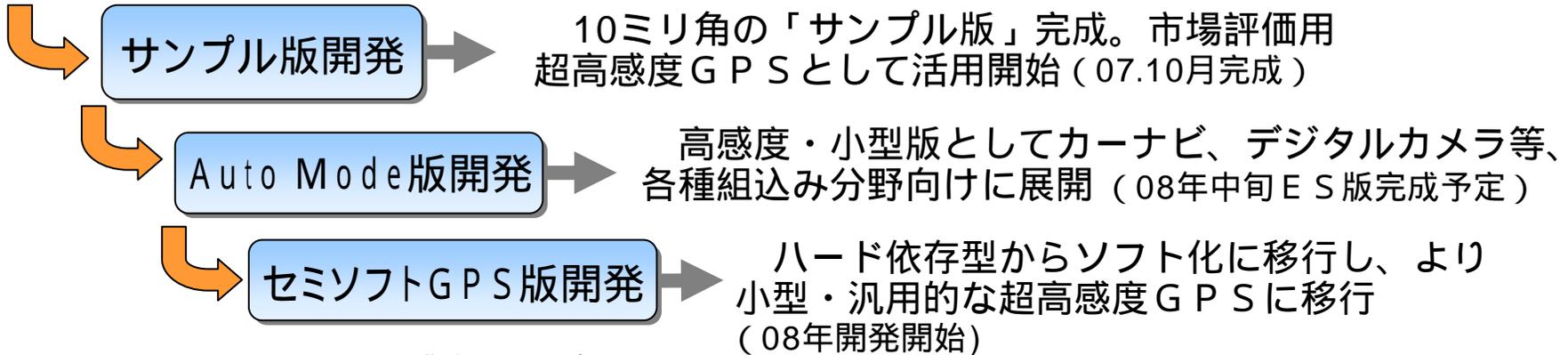
積極的な研究開発投資（製品機能アップ）  
製品連携による新ソリューション提供  
アライアンスによる新事業展開（GIS事業など）



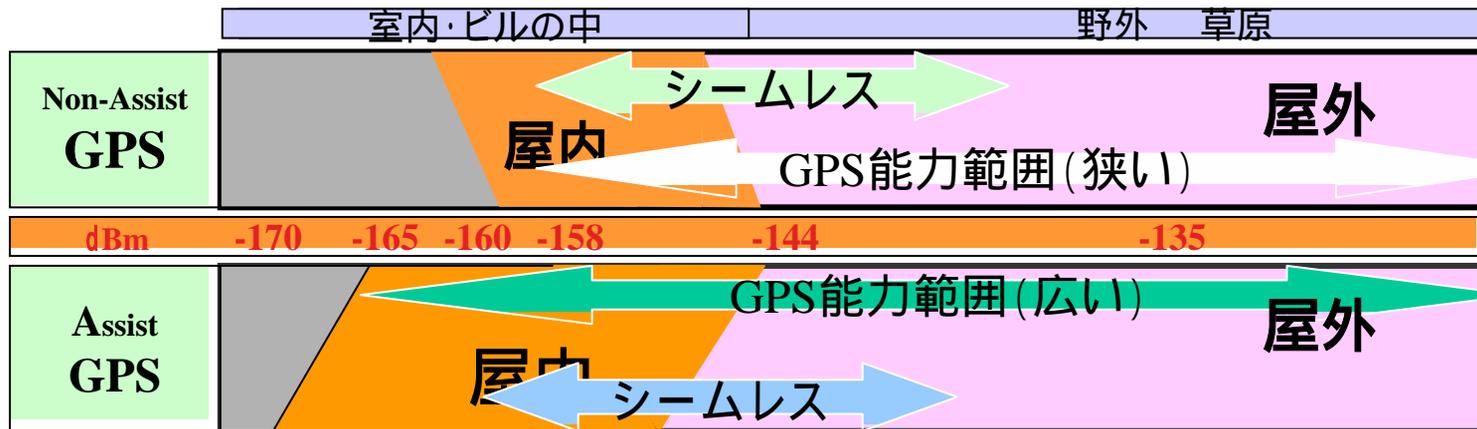
# 超高感度GPSの展開について

評価版(FPGA)の機能検証で、-170dbmの微弱電波での位置情報検出に成功(目標性能達成)

07年度内に2社とのライセンス契約(50万\$)獲得を目指す



AutoModeGPSとAssistGPSの感度イメージ



注) Auto Mode版: アシストサーバからのGPS関連データを利用せず、単独で位置検出を可能としたタイプ

注) AssistGPS Mode版: アシストサーバからの情報と連動することで、屋内でも位置情報を受信可能としたタイプ



# プラットフォームビジネスを推進

小型・高機能「 $\mu$ T-Engineプラットフォーム」を投入。ソリューション拡大！

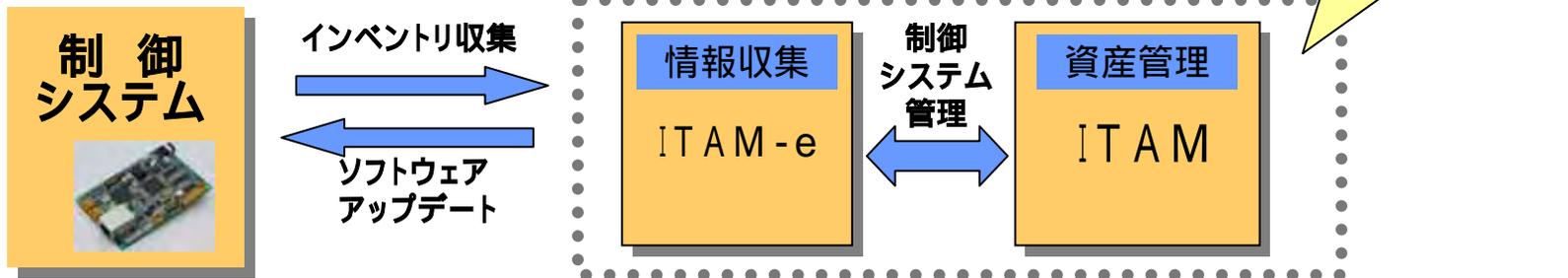
## 携帯電話との融合ソリューション・横展開

携帯を利用したビル入退出管理システム等を実現  
組込みミドルウェア、開発ツール提供の推進  
組込み用DB (エンサーク社)採用で開発効率向上  
小型・廉価版で用途の拡大を推進  
「 $\mu$ T-Engine」を07.12月リリース開始



コア「 $\mu$ T-Engineプラットフォーム」

## ITAM製品との連携ソリューション提供





# アライアンス事業を推進

G I S 事業会社「デジタル・アース社」と資本提携（07.9月）  
Google Earthを利用した新G I S サービスを開発・提供！



空間情報表示機能

## 行動分析ソリューションとの機能連携

Analyst s Notebookの情報分析・表示機能との連携による新行動分析ソリューション提供を検討



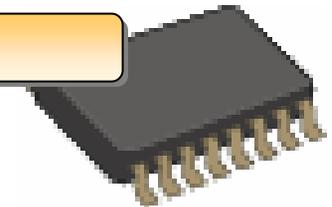
## 電子テロップシステムとの機能連携

電子テロップシステムとの機能連携で放送局向け新ソリューション提供を検討



## GPSチップとの機能連携

空間情報表示機能と超高感度GPSとの連携による新サービスを検討



その他、各種コンテンツの開発・提供、システム開発、カスタマイズを推進

注) GIS (Geographical Information System): 地理情報システム

# 成長への積極投資推進 (07年度計画)

研究開発投資 1.2 3.2 4.3億円へ

戦略製品・IPビジネスを中心に、次への成長に積極投資

- ➡ 超高感度GPSチップ開発 (150百万円)
- ➡ ITAM・PLM製品機能アップ (106百万円)
- ➡ 電子テロップ製品周辺機器開発 (130百万円)
- ➡ T-Engineプラットフォーム (22百万円)  
LA製品、その他 (22百万円)

# 生産性・品質・体制の強化策推進

## < 開発体制見直しによるプロジェクトリスクの低減 >

リスク評価基準の見直し      第三者による出荷判定制度導入  
などを推進

## < 人材開発・採用の強化 >

新卒採用実績・計画

06年4月採用：89名      07年4月採用：116名      08年4月内定：113名

拠点ネットワーク活用による新卒、経験者採用拡大を今後も推進

## < 第9次3カ年計画策定（2008-2010年） >

「未来志向のサービス、製品の創生、コア・イノベーション」  
による大飛躍を目指す中期経営計画の策定を開始

# ありがとうございました。

この資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

## お問い合わせ先

社長室 室長 / 新 幸彦(y-shin@core.co.jp)  
企画・広報部 部長 / 工藤 勝昭(kkudo@core.co.jp)

東京都世田谷区三軒茶屋1-22-3 コアビル  
TEL.03-3795-5111 FAX.03-3795-5129